

## ●大会運営に関する取り決め事項（バドミントン）

### <開催要項>

#### 1. 競技規則

日本バドミントン協会競技規則によるが、一部大会特別規定を適用するものとする。

#### 2. 競技方法

7/26(火) 9:00～

・個人戦：トーナメント方式による

(ア) 登録人数は**1校13名を上限**とする。

(イ) 名簿の提出は学年を問わず、実力順に記載すること。

7/27(水) 9:00～

・団体戦：トーナメント方式による

(ア) 複1組・単2名で行い、試合順序は複―単―単で実施する。単複の選手は兼ねられる。

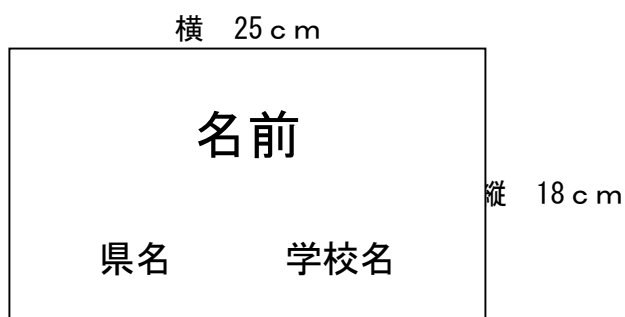
(イ) 1校1チームの出場とする。

(ウ) シングルの試合は2コートで同時進行とする。

(エ) 登録は1チーム**2名以上5名以内**とする。

### <大会特別規定>

- 21点のラリーポイント制を採用する。スコアが20点オールになった場合には、その後2点リードしたサイドがそのゲームでの勝者となる。また、29点オールになった場合には、30点目を得点したサイドがそのゲームでの勝者となる。最終セットはどちらかが11点を取得したときにコートチェンジを行う。
- 個人戦・団体戦ともに登録人数・出場チーム数により15点のラリーポイント制を採用する場合もある。15点のラリーポイント制の場合は、スコアが14点オールになった場合には、15点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となる。最終セットは、どちらかが8点を取得したときコートチェンジを行う。
- 使用シャトルは水鳥球とする。
- 服装は、半袖襟付き・短パンを原則とするが、最近の傾向で襟付きでないユニフォーム等も可。靴下は着用し、試合場用靴(体育館履き)を履いていない者は棄権とする。また、下記を基準としたゼッケン(縦18×横25cm)を上着背面中央に四隅固定する。



- 試合前の練習は、個人戦各2分・団体戦は各試合2分とする。
- 各ゲームの間に90秒を超えないインターバルが与えられる。アドバイスをする場合にエンドを変えた後コート上で行う。ただし、コート内に入れるのは2名までとする。なお、11点でのインターバルはこの大会では採用しない。
- 審判については原則として敗者審判制を採用し全試合生徒で行うものとする。なお、初戦のみ本部から指定をする。(プレーヤーは原則として主審、線審もできることが望ましい)
- 団体戦の組み合わせは本部で行い、登録選手の変更は、代表者会議までは認めるものとする。
- 個人戦の組み合わせは提出された名簿を基準に、本部にて作成する。なお、申込期限後の棄権以外の変更は原則として認めない。(登録されていない選手の追加など)
- 審判の判定に対してのクレームや抗議は原則認めない。また、審判の判定に影響を与えるような行為も禁止とする。
- 引率責任者は、当該学校長の認めたものとする。